



森林レンジャーあきる野新聞

Vol.5

2010年10月号

発行：森林レンジャーあきる野

養沢の育林家を訪ねて（10月6日）

皆さん知っていますか、西多摩の山林が雪で大きな被害を受けたこと。今から25年も前の話です。昭和61年3月に終日雪が降り、春先の湿った重い雪で木の幹が折れたり、木が根元からひっくり返ったりしました。あきる野を含めた西多摩の林業が壊滅するといわれたほどの大被害だったそうです。

今回、お話を伺った養沢の育林家、池谷キワ子さんの山林も倒木が折り重なり林地に踏み込むことすら出来ない状況だったそうです。倒木を片付けて、新たに植林をして、森を再生させているとのことでした。その当時から、池谷さんは山林ボランティアを受け入れ、都市住民とつながりながら森を育てています。



池谷さんの家の裏山には、大径木の見事なスギ・ヒノキ林、竹林、広葉樹林など多種多様な森が存在します。また、林床には下草が残されていて、色とりどりの山野草を確認することができました。

作業道沿いには馬頭観音や古い炭焼窯の石積みが残されており、自然だけではなく歴史も感じることができる森といえるのではないのでしょうか。



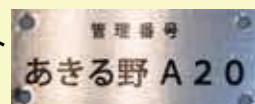
サルギ尾根管理番号設置（10月20日）

8月28日に設置したサルギ尾根のすべての道標に管理プレートを設置してきました。このプレートには管理番号が記されており、消防署や警察署と道標の位置情報が共有されています。緊急時にはこの管理番号を基に通報してください。

私たちレンジャーにとって今回のサルギ尾根整備は5回目になります。何度登ってもサルギ尾根の急な斜面はきつく感じ、特に下り斜面は滑りますので皆さん、ご注意を。



銀色の管理プレートになります



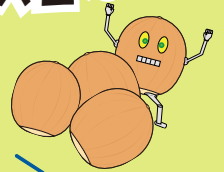
～ イベント告知 ～

どんぐりで森づくり ～あきる野市産業祭は森の入口～

11月13日・14日、都立秋留台公園であきる野市「産業祭」が開催されます。私たち森林レンジャーもブースを出展！生き物の写真や森林レンジャーの活動を紹介します。他には子供たちと一緒に公園で、「どんぐりで森づくり」というイベントを行いますよ。

公園でどんぐり集めをしながら、どんぐりや森についてのちょっとしたお話。集めたどんぐりからいったいどのくらい芽が出るのだろう？

みなさん、ぜひご参加ください!!



<募集内容>

11月13日（土）14：00（雨天中止）

11月14日（日）10：30（雨天中止）

14：00（雨天中止）

対象：小学生 定員 20名（要予約）

保険料：1人100円 持ち物：筆記用具

お問い合わせ先：環境の森推進室

Tel042-558-8862

次世代につなぐ森づくり見学会

スギ・ヒノキ林と聞いて皆さんはどのような森を想像しますか？

森の中に光が差し込まない暗い森をイメージする人が多いかもしれません。これは木が成長しても木材として街で利用されなくなり、木材の循環が少なくなったことが原因の1つです。

今回、木材の生産現場である“森”で作業を体験し、秋川木工組合の工房を見学します。「秋川の木材を使う」と豊かな自然が育まれる仕組みと一緒に学んでみませんか。

<募集内容>

11月27日（土）

9：00 あきる野市役所（集合場所）

9：30 五日市出張所（集合場所）

15：00 見学会終了

対象：18歳以上の市内在住の方

定員20名 参加費 1000円（保険料を含む）

持ち物：雨具、昼食、筆記用具

山林で作業可能な服装

お問い合わせ先：環境の森推進室

Tel042-558-8862



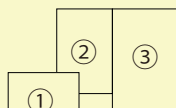
レンジャーの日々

○臼杵山山頂にて枯れ木の伐採（10/5）

山頂にあった切り株を利用して隊長がイスとテーブルを作りました。（①、②）

○戸倉・小宮地区の環境資源調査（10/13,15,18）

沢周辺は特に寒さを感じます。それでも滝のある風景は美しいですね。（③）



写真

